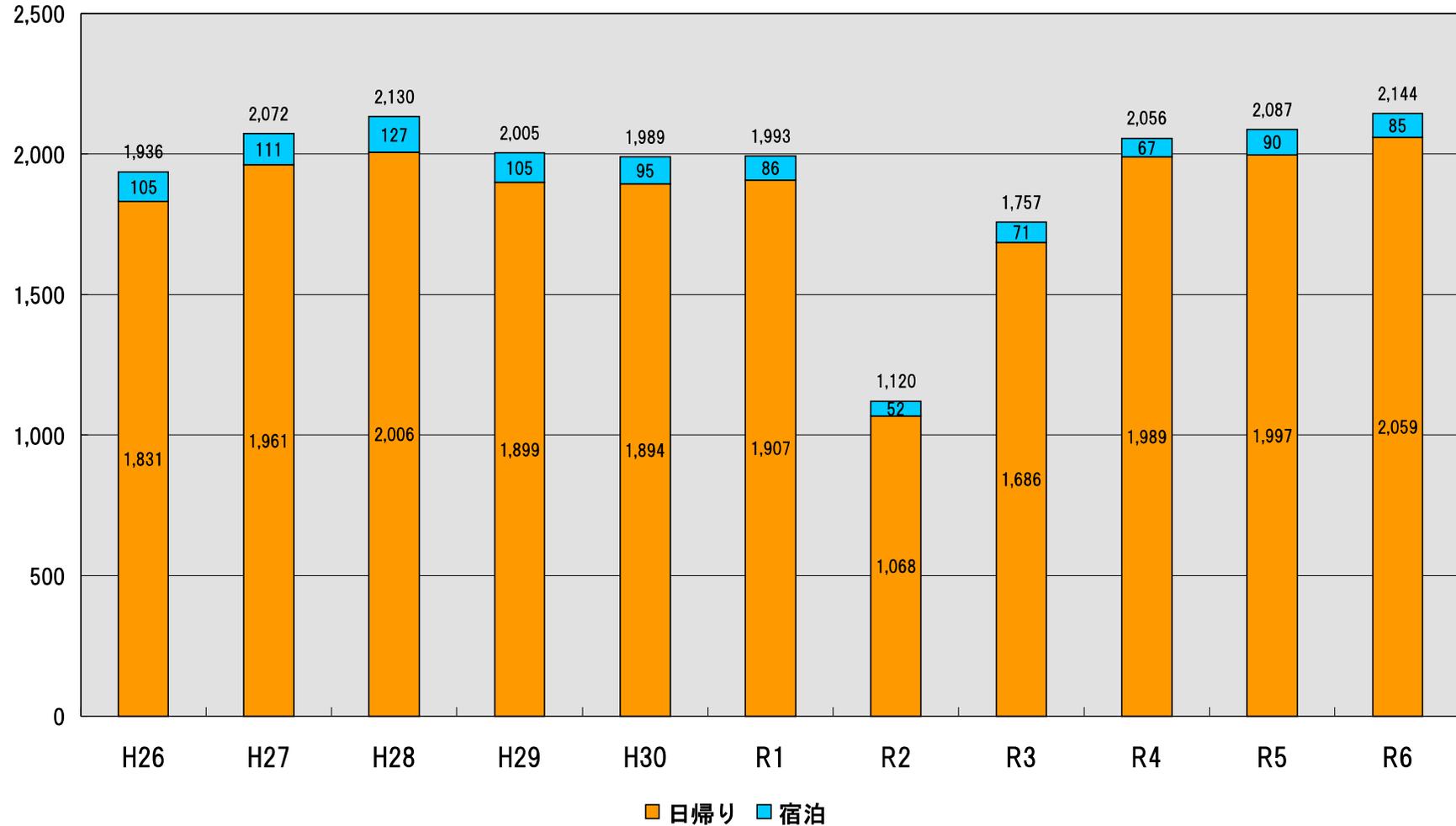


令和5年は、新型コロナウイルス感染症の5類移行や全国旅行支援、中部縦貫自動車道の九頭竜ICまでの延伸により、大きなインパクトがあった。令和6年は、その反動が予想されつつも、3月に北陸新幹線の金沢・敦賀間が開業することで観光客の増加が期待された。このような中、令和6年の観光入込客数は2,143,900人で前年より57,400人の増加。各地点で入込の増加が見られたものの、猛暑によるキャンプ場宿泊者数の減少や紅葉の遅れによって、九頭竜湖や荒島岳など郊外エリアでは入込が減少した。

日帰り／宿泊 入込客数の推移

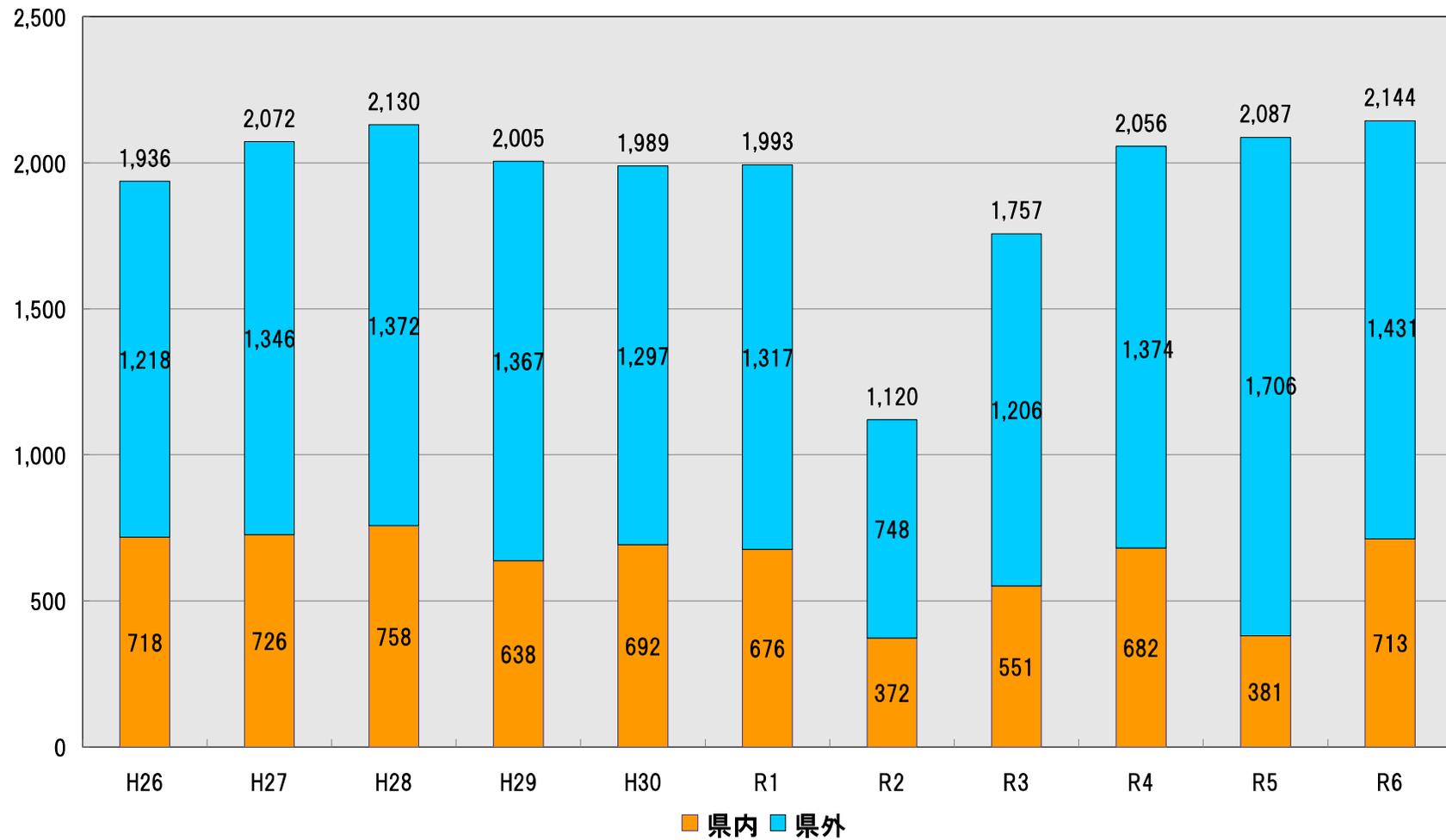
(千人)



日帰り客数は、2,059,000人（対前年比62,000人増、103.6%）であった。宿泊客数は、6～8月に猛暑日（35℃以上）や真夏日（30℃以上）、熱帯夜（最低気温25℃以上）の日が平年より多かったことが要因でキャンプ場の宿泊者数が減少。85,000人（対前年比5,000人減、94.4%）に留まったものの、コロナ禍前（令和元年）の水準（86,000人）に回復しつつある。

県内／県外別 入込客数の推移

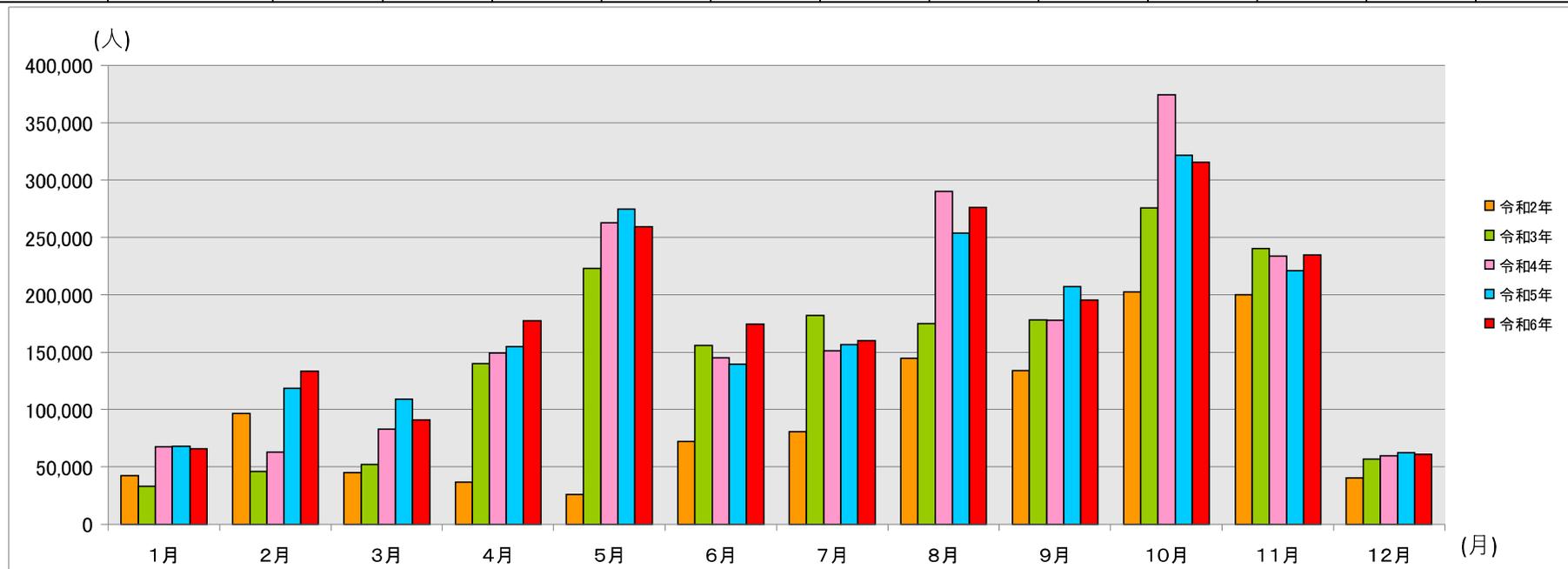
(千人)



県内からの入込客数は713,000人（対前年比332,000人増、187.1%）、県外からの入込客数は1,431,000人（対前年比275,000人減、83.9%）であった。

月別入込客数の推移

年	入込総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和2年	1,120,400	42,000	96,300	45,400	36,600	26,200	72,100	80,800	144,700	133,900	202,000	199,900	40,500
令和3年	1,756,900	32,800	46,100	52,400	139,500	223,000	155,700	181,900	174,600	178,300	275,600	240,300	56,700
令和4年	2,055,700	67,400	62,900	82,700	148,800	262,500	145,100	151,200	290,200	177,600	374,300	233,600	59,400
令和5年	2,086,500	67,700	118,300	108,900	154,600	275,100	139,300	156,600	253,800	207,200	321,600	221,100	62,300
令和6年	2,143,900	65,400	133,600	91,100	177,500	259,500	174,200	160,000	276,200	195,700	315,100	234,500	61,100
前年比	102.8%	96.6%	112.9%	83.7%	114.8%	94.3%	125.1%	102.2%	108.8%	94.4%	98.0%	106.1%	98.1%



2月は平年に比べ気温も高く降雪が少なく入込の増加に繋がったが、3月は上旬の気温が平年よりも低く降雪があり入込の減少となった。6月は中旬まで雨がほとんど降らず入込も増加した。9月は前年は、まちなかでイベント（城下町キャラバン）が開催されたが本年は実施されなかったことにより減少した。なお、その他の月の入込は前年並みであった。

主要観光地・イベント別入込客数の推移

年	入込総数	まちなか 観光	荒島岳	六呂師高原	九頭竜湖 周辺	市内スキー場	道の駅「越前おお の 荒島の郷」	越前おおの 冬物語	おおの 城まつり	九頭竜 紅葉まつり
令和2年	1,120,400	470,800	13,400	101,600	226,600	4,200	0	45,000	0	0
令和3年	1,756,900	426,300	14,700	107,500	197,500	34,200	671,200	0	0	0
令和4年	2,055,700	605,900	15,900	101,800	245,900	34,000	625,500	0	74,000	53,000
令和5年	2,086,500	670,100	11,900	97,600	260,700	34,900	618,800	38,000	49,000	48,000
令和6年	2,143,900	704,000	9,500	114,200	224,100	35,000	679,100	33,000	55,000	41,000
前年比	102.8%	105.1%	79.8%	117.0%	86.0%	100.3%	109.7%	—	—	—

※市内スキー場は九頭竜スキー場、福井和泉スキー場、DAINOUスポーツランドの合計です。

※越前おおの冬物語には、同日開催のふるさと味物語・でっち羊かんまつりの入込も計上しています。

まちなかは、令和5年は武家屋敷旧内山家・田村家が映画ロケで2ヶ月間閉鎖したこと、令和6年は越前大野城の入込の増加などにより、全体で入込が増加した。郊外の道の駅越前おおの荒島の郷は、運営者がイベント開催や団体受け入れに取り組んだほか、中部縦貫自動車道の九頭竜ICの延伸の効果により増加した。

また、六呂師高原周辺ではミルク工房奥越前やうらら館などの入込やイベントの入込が増加した。九頭竜湖周辺や荒島岳では平年よりも猛暑日が多く、9月まで続いたことで登山客が減少したことや、11月中旬まで気温が高く紅葉が進まなかったことにより大きく減少した。